

中小企業等特許情報分析活用支援事業(2019年度) 特許情報分析報告書(審査請求段階)

報告書作成日: 2019/**/**

調査: 株式会社プロパティ

報告責任者: 陸 文晶

報告作成者: 武田守弘

受注日: 2019/**/**

入金確認日: 2019/**/**

株式会社●●●●

▲▲ ▲▲様

| | |
|-------------|-------------|
| 案件番号 | NO.19-0000* |
|-------------|-------------|

| 調査対象案件 | | | |
|---------------|---|-------|----------|
| 出願番号 (出願日) | 特願XXXX-XXXXXX号 (20XX.02.09) | 発明の名称 | ○○装置 |
| 公開番号 (公開日) | - | 出願人名 | 株式会社●●●● |
| 発明者名 | ■ ■、■ ■ | 代理人名 | ■ ■ |
| 調査対象請求 項番号 | <ul style="list-style-type: none"> ・請求項1 ・請求項2 ・請求項3 ・請求項4 ・請求項5 ・請求項6 ・請求項7 ・請求項8 ・請求項9 | | |

調査結果および評価

先行資料①～⑤には複数の▲▲設備を備え、○○手段、○○手段、○○装置(○○手段)等を有する▲▲装置について、本願請求項1、2および9に同一あるいは類似と見なされる内容が開示されています。しかしながら、先行資料①～⑤には、本件発明の請求項3、請求項4、請求項5、請求項6、請求項7、請求項8の構成が開示されておられません。よって、本件発明は、上記請求項3～8の内容における権利化は可能であると推察致します。

| 調査の概要 | | | |
|---------------|--|------|----------------------------|
| 使用データベース | Cks-Web | 調査対象 | 特許・実用新案****年1月1日～****年2月1日 |
| 調査分類 (IPC) | <ul style="list-style-type: none"> ■**■ ・5/00:○○容器, ■■または■■ ・23/00:▲▲; ●● | | |

| | | | |
|-------|----|-----------|------|
| 検索式① | | | |
| 検索式② | | | |
| 検索式③ | | | |
| ヒット件数 | ○件 | スクリーニング件数 | ○○○件 |

調査対象案件と抽出資料との対比表

| 請求項 | 判定 | 特願20**-000000*号 (20*.0*.0*) | ① | ② | ③ | ④ | ⑤ |
|-----|------|--|-------------------------|---------------------|------------------------|---------------------------------|--------------------------|
| | | | 特開平〇-〇〇 ▲▲装置 ■(株) | 実登〇〇 ▲▲システム ■ | 特開〇-〇〇 ▲▲施設 ■(株) | 再公表〇〇/〇〇 ▲▲装置及び▲▲システ ■(株) | 特開〇-〇〇 ▲▲システム ■(株) |
| | | 抽出文献種別 (同一・類似・参考) | 同一/類似 | 参考 | 参考 | 参考 | 参考 |
| 1 | 問題あり | 1又は複数の栽培設備を有し、 | ○ 【0021】【図1】 | ○ 【0023】【図1】 | ○ 【0013】【図1】 | ○ 【0072】【図1】 | ○ 【0013】【図1】 |
| | | 前記栽培設備は、内部に上方及び側方が覆われた筒状空間である栽培空間が形成されており、前記栽培空間で植物を生育するものであり、 | ○ 【0021】【図1】【図2】 | ○ 【0028】【図3】 | ○ 【0013】【図4】 | ○ 【0075】【図9】 | 記載無し |
| | | 前記栽培空間には、少なくとも一つの空気攪拌手段が設けられており、 | ○ 【0027】【図1】【図4】 | 記載無し | 記載無し | 記載無し | 記載無し |
| | | 前記空気攪拌手段は、送風方向が前記栽培空間の長手方向に沿う方向となる送風動作が可能であることを特徴とする植物栽培装置。 | ○ 【0027】【図1】【図4】 | 記載無し | 記載無し | 記載無し | 記載無し |
| 2 | 問題あり | 前記栽培空間は、長手方向における一端側に生育前の植物を搬入する搬入口を有し、他端側に生育後の植物を搬出する搬出口を有しており、 | △ 【0024】【図1】【図2】 | 記載無し | 記載無し | ○ 【0075】【図4】 | 記載無し |
| | | 前記空気攪拌手段は、前記栽培空間の長手方向に沿う方向であり、且つ、前記搬入口から前記搬出口へ向かう方向に送風可能であることを特徴とする請求項1に記載の植物栽培装置。 | △ 【0024】【図1】【図2】 | 記載無し | 記載無し | 記載無し | 記載無し |
| 3 | 問題なし | 前記空気攪拌手段は、前記搬入口から前記栽培設備の全長の4分の1程度の距離だけ離れた位置に取り付けられることを特徴とする請求項2に記載の植物栽培装置。 | 記載無し | 記載無し | 記載無し | 記載無し | 記載無し |
| 4 | 問題なし | 前記空気攪拌手段を移動させる駆動手段を有し、前記空気攪拌手段は、前記栽培設備の長手方向に沿う方向に移動可能であることを特徴とする請求項1又は2に記載の植物栽培装置。 | 記載無し | 記載無し | 記載無し | 記載無し | 記載無し |
| 5 | 問題なし | 前記空気攪拌手段の少なくとも一部の姿勢を変更する姿勢変更手段を有し、 | 記載無し | 記載無し | 記載無し | 記載無し | 記載無し |
| | | 前記姿勢変更手段は、前記栽培設備の長手方向と交わる方向に延びる回転軸を中心として、前記空気攪拌手段の少なくとも一部を回転させる動作が可能であり、 | 記載無し | 記載無し | 記載無し | 記載無し | 記載無し |
| | | 前記空気攪拌手段は、前記姿勢変更手段により送風方向の変更が可能であることを特徴とする請求項1乃至4のいずれかに記載の植物栽培装置。 | 記載無し | 記載無し | 記載無し | 記載無し | 記載無し |
| 6 | 問題なし | 前記空気攪拌手段は、羽根車が回転して送風動作を実施するものであり、 | ○ 【0027】【図1】【図4】 | 記載無し | 記載無し | 記載無し | 記載無し |
| | | 前記羽根車の回転速度を変更することで、送風動作における風速を変更することを特徴とする請求項1乃至5のいずれかに記載の植物栽培装置。 | 記載無し | 記載無し | 記載無し | 記載無し | 記載無し |
| | | 前記栽培空間に、植物に人工光を照射する照明手段が設けられており、 | ○ 【0024】【図1】【図3】 | ○ 【0032】【図2】 | ○ 【0019】【図4】 | ○ 【0078】【図9】 | ○ 【0013】【図1】 |

調査対象案件と抽出資料との対比表

| | | | | | | | |
|---|------|---|--|----------------------------|--------------------------------|------|--|
| 7 | 問題なし | 前記栽培設備は、前記照明手段によって光が植物に照射される明期と、前記明期に比べて少ない光量の光が植物に照射される、又は、前記照明手段が光を植物に照射しない暗期の切り替えが可能であり、 | 記載無し | △ 【0032】【図2】 光制御部57 | 記載無し | 記載無し | ○ 【0015】【図1】 明期、暗期の切替えに伴い 設定温度を変更する |
| | | 前記空気攪拌手段は、前記明期には植物へ向かう方向に送風し、前記暗期には植物の上方へ向かう方向に送風することを特徴とする請求項5に記載の植物栽培装置。 | 記載無し | 記載無し | 記載無し | 記載無し | 記載無し |
| 8 | 問題なし | 前記空気攪拌手段は、外部部材と、外郭部材に収納される羽根車と、前記外郭部材に取り付け可能な付属の風向変更部材を有し、 | 記載無し | 記載無し | 記載無し | 記載無し | 記載無し |
| | | 前記外郭部材に前記風向変更部材を取り付けた状態とすることで、送風動作における送風方向を吹き出し方向とは異なる方向に変更可能であることを特徴とする請求項1乃至7のいずれかに記載の植物栽培装置。 | 記載無し | 記載無し | 記載無し | 記載無し | 記載無し |
| 9 | 問題あり | 前記空気攪拌手段が前記栽培空間の空気を除湿する除湿手段を有していることを特徴とする請求項1乃至8のいずれかに記載の植物栽培装置。 | ○ 【0028】【図1】【図4】 除湿器を内装した湿度調節器23 | △ 【0033】【図2】 湿度制御部69 | △ 【0013】【図1】 空調機20、33、38 | 記載無し | △ 【0013】【図1】 栽培室の空調システム10 |